

**(株)荻野製作所が「彩の国工場」に指定！
豊かな彩の国づくりのパートナーに**

輸送用機械器具製造業の株式会社荻野製作所(荻野千之代表取締役・写真左)が「彩の国工場」に指定されました。「彩の国工場」とは、技術力や環境面で優れている工場を、知事が豊かな彩の国づくりの協力者として指定するものです。荻野代表は「名だたる工場が指定を受けている『彩の国工場』に加えていただき大変光栄です。その名に恥じないように仕事に取り組んでまいります」と話してくれました。



**原口文仁選手の野球教室開催！
野球少年・少女と交流**

12月22日に寄居運動公園で、阪神タイガース・原口文仁選手による野球教室が開催されました。会場には、150人を超える野球少年・少女が集まり、原口選手から直接指導を受けるなど、夢のような時間を過ごしました。原口選手は昨シーズン、病気から復帰し、多くの人に勇気を与えてくれました。今シーズンも原口選手の活躍を期待しています。



**鈴木大賀さんと石水健太さんが全国大会出場！
全国高等学校ラグビーフットボール大会**

12月27日から1月7日に開催された全国大会に、流通経済大学付属柏高校3年の鈴木大賀さん(寄居中出身・写真左)と石水健太さん(同出身・写真右)が出演し、ベスト8となりました。鈴木さんは「寄居中で始めたラグビーで全国大会を経験できたことを幸せに感じています」、石水さんは「3年間努力したことが花園で出せたので良かったです。ラグビーができることに感謝し、次のステージに向け頑張ります」と話してくれました。



鈴木さん(左から2人目)

石水さん(ボール所持)

**高橋遥香さんが装丁賞優秀賞受賞！
第13回句集を作ろう！コンテスト**

全国の中中学生以下を対象にした「句集を作ろうコンテスト」で、高橋遥香さん(寄居中1年)の句集「佐渡へ」が20部部門の装丁賞優秀賞に選ばれました。高橋さんは「小学3年のときから毎年句集作りに取り組んでいます。今年は夏休みに姉と佐渡へ行った思い出などを俳句と砂絵で表現し句集にまとめました。受賞、俳人・正岡子規さんの故郷・松山市での表彰式、どちらも大変貴重な経験でした」と話してくれました。



新規就農者を紹介します！

町では、さまざまな施策により新規就農者を支援しています。今回は、町の支援事業を活用し、平成29年に就農した岸本圭司さんをご紹介します。

岸本さんは子どものころから農業をやりたいという気持ちを持ち、平成28年、30歳のときに「安心・安全なものを自分で栽培したい」との考えから、就農を決意しました。同年に宮崎県から寄居町へ移住して、「明日の農業担い手育成塾実践研修事業」を活用し、1年間の研修を開始。施設栽培は天候に左右されないものと思われがちですが、実際は温度管理などで天候に左右されることが多く、短い研修期間では栽培技術を伝えきれないということで、岸本さんは期間中ほぼ毎日、施設栽培農家の下で研修を受けました。

そして研修の経験を生かし、平成29年4月、31歳のときに、用土の約2反の農地にパイプハウスを建設し、施設ミニトマトを主に農業を始めました。

就農者の声 岸本圭司さん(岩崎)

現在就農3年目です。農業は働いたら働いた分だけ自分に返ってきますし、一方で失敗も自分に返ってきてしまいますが、そこが魅力だと思います。育てる難しさを日々痛感しながら、思い通りにいかないことに臨機応変に対応しつつ、町での農業に励んでいきたいです。農産物は、試行錯誤の中でできるものなので、なかなか自信のあるものが毎回できるとは限りませんが、皆さんにお届けできる農産物に対しては、味も見た目もしっかりしたものを出荷していますので、ぜひ一度、食べていただければと思います。

**見ます・聴きます・話します！訪問事業
百歳体操「西ノ入長寿会」**

17回目となる今回の事業では、寄居いきいき百歳体操を行っている「西ノ入長寿会」の皆さんを訪問しました。当日は、初めに百歳体操に参加させていただき、その後、地域における交通事情や高齢化社会での地域住民とのつながり方、中心市街地活性化事業の進捗等について意見交換を行いました。



**寄居町消防団出初式開催！
防火・防災への誓い新たに**

1月19日に用土グラウンドで、消防団出初式が行われました。消防団員は寒風の厳しい中きびきびと点検を行い、統制のとれた行進を披露しました。岡安徹団長は「災害時には『自分たちの地域は自分たちで守る』という郷土愛の精神の下、活動していきたい」と話してくれました。また、花輪町長からは「消防団の皆さんには地域防災の要として、引き続きご協力をお願いします」と訓示があり、あらためて防火・防災への備えを誓いました。

